

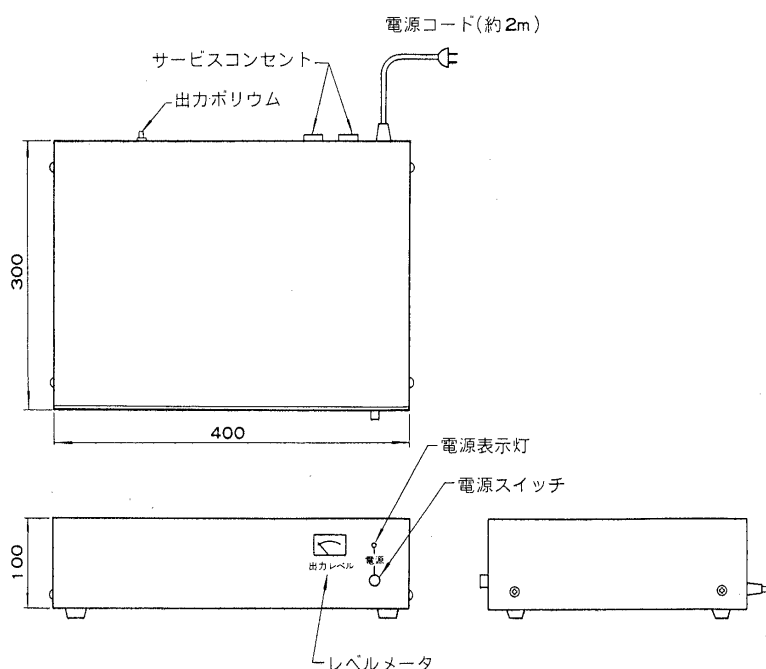
TOSHIBA 東芝インターホン用一斉放送アダプター取扱説明書

対象機種

BT801A

このたびは東芝インターホン用一斉放送アダプターをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの一斉放送アダプターを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

各部のなまえと大きさ



特にご注意を

- カバーをとりはずすときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは必ず AC100V のコンセントに差し込んでください。

組み合わせて使用できる機器

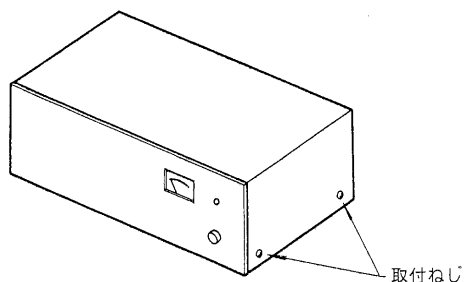
- システムテレホン20局用親機.....MO20C
- システムテレホン30局用親機.....MO30C
- ボタンインターホン親機.....BT205A, BT206A
- システムテレホンスピーカ付子機.....BT510
- 卓上・壁掛形子機.....BP-RZ
- 丸形天井埋込形子機.....BP-RS
- トランペット形子機.....BP501B
- その他のスピーカ（入力インピーダンス 8 Ω ～ 32 Ω）

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

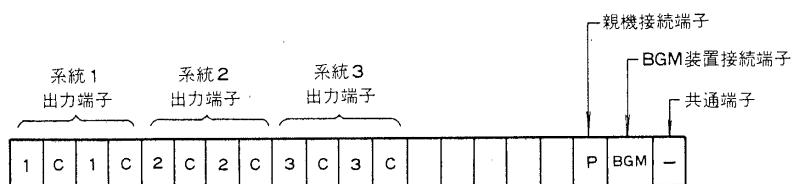
生産完了 2004年01月01日
BT801A (1/4)

取り付けかた



- シャーシの取付ねじ（各側面 2 個ずつ）をとり、カバーをはずしてください。
- 「接続のしかた」にしたがって各機器との配線を接続してください。
- 配線の接続が終了しましたらカバーをもとどおりに取り付けてください。

端子配列について



- [1]、[C] 出力端子：トランペット形子機(BP501B)やスピーカ付子機(BT510)などを接続します。
- [2]、[C] 出力端子： " "
- [3]、[C] 出力端子： " "
- [P] 親機接続端子：システムテレホン(MO20C、MO30C)のP端子、ボタンインターホン(BT205A、BT206A)の一斉放送用局線端子に接続します。
- [BGM] BGM接続端子：BGM装置に接続します。
- [—] 共通(—)端子：[—]端子は親機およびBGM装置に接続します。

スピーカまたはスピーカ付き子機の接続数と出力

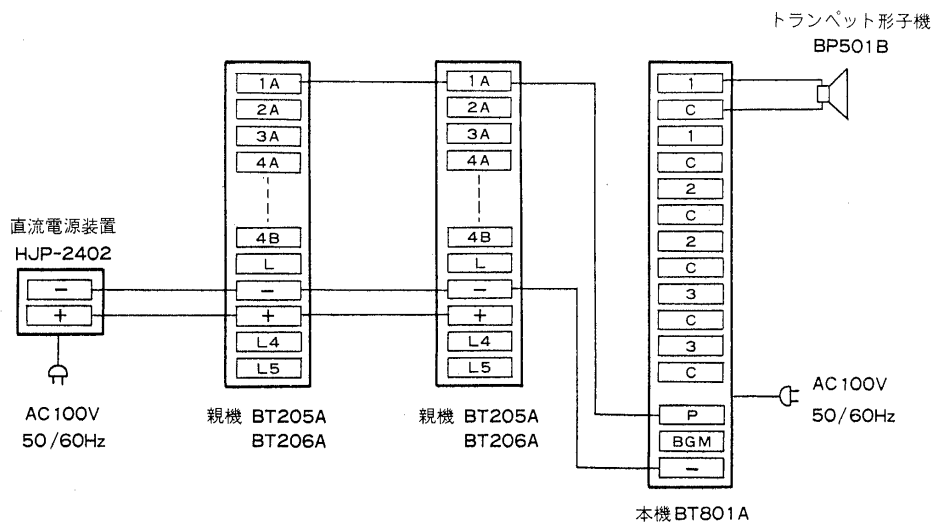
■接続数

- 出力端子は[1][C]、[2][C]、[3][C]にわかれていて、出力端子に接続できる最小負荷インピーダンスは 2Ω です。
したがって 32Ω スピーカのときは約20台です。
 8Ω スピーカのときは4台です。

接続のしかた

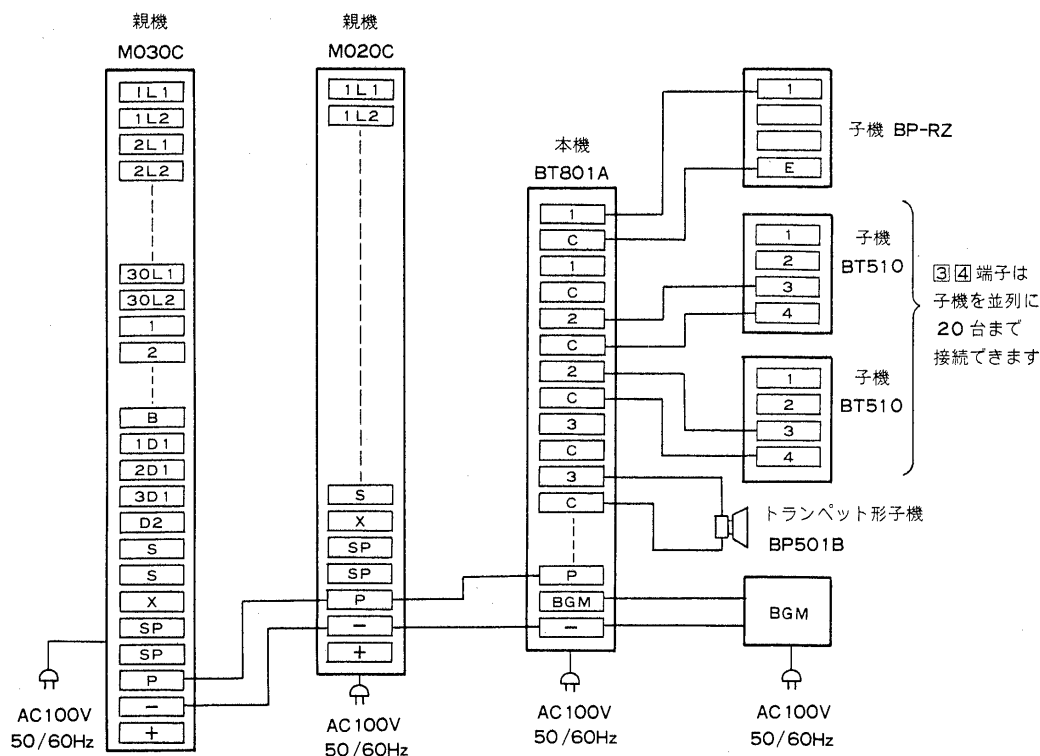
■接続例 1

- ボタンインターホンBT205A、BT206A から一斉放送をするとき。



■接続例 2

- BGM放送とシステムテレホン（MO20C、MO30C）から一斉放送をするとき。



- このアダプタへ接続できる子機の台数は、各出力端子ごとにBP-RZ、BT510は合計20台まで、BP501Bは4台までです。
- なお、各出力端子ごとに配線に便利なように2組の出力端子があります。

使いかた

- この一斉放送アダプターに接続したシステムテレホン（MO20C、MO30C）の送受器をとりあげ、**一斉放送**ボタンを押しますと、受話器からチャイム音が聞こえます。このチャイム音が止まると、直ちに一斉放送を行なうことができます。つぎに**一斉放送**ボタンから指をはなして送話口で話してください。
- ボタンインターホン（BT205A、BT206A）から一斉放送を行なうときは、そのボタンインターホンの一斉放送用として定められた選局ボタンを2つ押して（接続例1の場合では**1**のボタンと**A**のボタン）選局し、次に**呼出**ボタンを押しますと、前と同じように、受話口からチャイム音が聞こえます。チャイム音が鳴り終わりましたら、**呼出**ボタンから指を離して、送話口で話せば放送ができます。
- ある一つのシステムテレホンから一斉放送を行なっているときは、他のシステムテレホンで一斉放送するための操作をしても、前にのべたチャイム音は聞こえず、一斉放送をすることもできません。そのときは、その一斉放送が終るまでしばらくの間お待ちください。
- BGM放送中にシステムテレホンから放送しますと、BGM放送は一時的に中断されます。システムテレホンからの放送が終了すると、自動的にBGM放送にもどります。
- 放送音量は、前面のレベルメーターで確認できます。
- 放送音量の調整ボリュームは、背面にあります。マイナスイドライバーの先をボリューム軸端の割溝に差し込んで、時計方向へまわすと音量が「大」、反時計方向へまわすと音量が「小」となります。

ご注意とお願い

このアダプターは屋内専用で-10℃～+40℃の範囲で使用するように設計してあります。つぎの場所へは取り付けないでください。

- 暖房器具の真上やその付近。
- 直射日光のあたるところ。
- 製氷倉庫など-10℃以下になるところ。
- 浴室など特に湿度の高いところ。
- 有害ガスやいろいろなほこりが特に多いところ。
- 水や薬品がかかるおそれのあるところ。

お手入れのしかた

- 本体はやわらかな布でからぶきしてください。
- 汚れがひどいときはシリコンワックスか石けん水に浸した布をよくしぼってからふいてください。
- 機器をいためますのでガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふかないでください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名(BT801A)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

■修理を依頼される前に、つぎの点についてお調べください。

- 放送ができないとき。
 - 電源プラグがコンセントから抜けていたり、接触が悪くなっていませんか。
 - 親機や子機の配線が、端子からはずれていませんか。

特 長

- 操作箇所は電源スイッチと音量調整ボリュームだけですから、取り扱いは簡単です。
- 親機との間は2線式ですから配線工事は簡単です。

規 格

■仕 様

- 電 源 AC100V 50/60Hz
- 消 費 電 力 定格時 80W
待受時 10W
- 出力端子数 6
- 定 格 出 力 30W (0.66Ω負荷)
- 歪 率 1%以下
- 周波数特性 300Hz～8000Hz (±3dB以内)
- 入 力 感 度 親機(ボタンインターホン、システムテレホン) -10dBs
BGM -20dBs
- 最小負荷インピーダンス 出力1、出力2、出力3の各系統の合計で0.66Ω以上

■組み合わせて使用できる機器

- 一斉放送アダプターを連動できる機器

複合式ボタンインターホン……………BT205A、BT206A

システムインターホン……………MO20C、MO30C

- 本機による放送を受けられる子機

スピーカ付子機 BT510 1～20台 MO-Cと通話可能

トランペット形子機 BP501B 1～6台 屋外設置可能

卓上・壁掛形子機 BP-RZ

角形埋込子機 MSA-102C

丸形埋込子機 BP-RS

壁掛形子機(角形) (MSA-102C)
(MSA-202C)

1～20台 屋内専用